

トピックス第2回は、ドリカムキャンプ実行委員のメンバーのチームでもある静岡県立吉原工業高校野球部の取り組みを紹介します。2013年12月に地元新聞に掲載されました。

チームスローガンは「**芽夢謝楽（がむしゃら）**」。そして、その記事の内容がこちら！

「感謝の気持ちを大切に」～吉原工 オープン大会で準優勝～

吉原工業高校がこのほど、県内の31チームによって争うオープン大会「第24回三村旗大会」で準優勝に輝いた。過去最高順位の結果を受け、日ごろから地域貢献活動に取り組んでいるチームには地域からも祝福の声が寄せられている。

同校では、平成24年度から「役立ち感育成プロジェクト」に取り組んでいる。生徒それぞれが地域活動や奉仕活動に率先して取り組み、周囲から感謝される体験を通じ、人に必要とされている喜びを感じ、その感謝の思いを持って地域で生きていくという時代を担う人材育成だ。

中でも野球部は、10年以上にわたり富士特別支援学校中・高等部の運動会に参加しているのをはじめ、福祉施設のイベントをサポート、福祉まつりでの募金活動などを展開。ノーマライゼーションの広がりを目指したボランティアを実践している。

毎朝行っている練習前の学校周辺の清掃で、地域住民とあいさつを交わし、激励されるのも見慣れた光景。

小野裕雅主将は、さまざまな人たちとの交流を「楽しい」と笑う。

同大会では、決勝で秋の県16強の掛川東に敗れたものの、準決勝までのトーナメント4試合は1-2点差の接戦をものにする勝負強さが光った。

小野主将は「野球の神様が『優勝はまだ早い』と言ったのかも。春、夏の公式戦では応援してくれる人たちのため、優勝をもぎ取る。地元の人たちに感謝の気持ちを返す“返謝”を大切にしたい」と一層の飛躍を誓う。

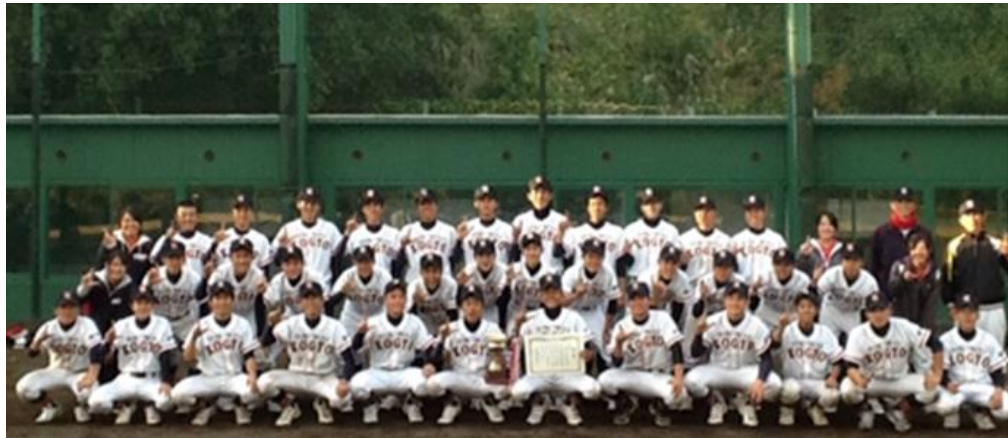
大勝良則監督が日頃から選手たちに言っている言葉がある。「良い選手である前によい生徒、よい生徒である前によい人間であれ」。

「技術を磨き、体力を付けてきた者同士が戦えば、最後を決めるのは心の成長。地域を背負って立つ人間になるため、心を鍛えてほしい」と見守っている。



<2013年12月13日 富士ニュースより>

日々、地域貢献する姿を見守る地域のみなさん、嬉しかったでしょうね！こういう方々は、「結果が出たら、いつでも祝福しよう！」とってくれています。



今回の記事掲載について、吉原工業高校野球部の大勝良則監督と、小野裕雅主将にコメントをいただきました。

◆まず、キャプテン 小野裕雅主将のコメントから紹介します。

この度は、懂れていたドリカムHPのトピックスに、私達の日々の地道な取り組みや活動が掲載された新聞記事を取り上げて頂き、ありがとうございます。

私達は、地域地元の人達、OBの皆さん、家族感謝することを忘れず、「凡事徹底！」誰でも出来る当たり前のことを、誰もマネ出来ないくらい一生懸命取り組み、楽しく毎日を過ごしていれば、夢は必ず芽生えたと信じて活動しています！

尚且つ、その私達の芽夢謝楽（がむしゃら）に顔晴る（がんばる）姿で、人々に勇気と元気、そして感動を与え、たくさんの「ありがとう」を頂くことが、私達の最幸（さいこう）であり、目的でもあります！

静岡県立吉原工業高校野球部 主将 小野 裕雅



◆続いて、大勝良則監督からのコメントを紹介いたします。

キャプテンの小野のコメントにもあるように、選手達は、チームスローガンを掲げて、毎日の生活の中で誰でもやっている、日常生活における当たり前の「挨拶」や「清掃」等を、人がマネできないくらい、自ら進んで本気で、芽夢謝楽に、実行しよう！と日々自分にチャレンジしています。

まだまだ甘く、完璧に実行出来ていない日が多いのですが、校内だけでなく、今回は、校外でも、選手の取組を新聞紙上で掲載して頂きました。

学校全体でここ３年間「役立ち感育成プロジェクト」として、「東日本被災地支援」「介護福祉施設支援」「特別支援学校養護施設支援」に野球部として積極的に参加し、非常に高い評価を得て反響を頂いた結果だと思えます。



活動の中で頂いた一通のお礼状をご紹介します。「俺達でも誰かのために役に立てる！」
こんなお礼状が生徒の顔晴（がんば）れる心の支えになっているのだと思います。

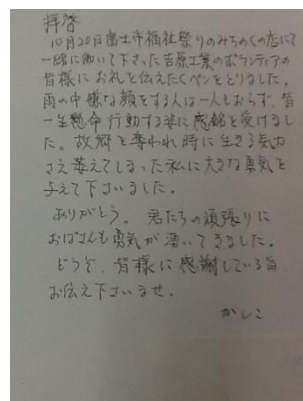
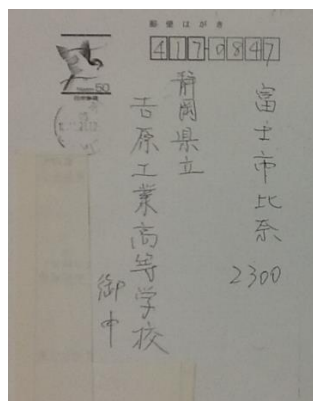
【拝啓 10月20日富士福祉祭りのみちのくの店にて、一緒に動いて下さった吉原工業のボランティアの皆様にお礼を伝えたくペンを取りました。

雨の中、嫌な顔をする人はひとりもおらず、皆一生懸命行動する姿に感銘を受けました。故郷を奪われ時に生きる気力さえ萎えてしまった私に大きな勇気を与えて下さいました。

ありがとうございます。君たちの頑張りにおばさんも勇気が湧いてきました。

どうぞ、皆様に感謝している旨お伝え下さいませ。

かしこ】



選手たちは、年末年始も休みなく朝練後に郵便局へ「勤労体験」に出ます。様々な経験を通して、人間力を高め、人の役に立つことで、自己肯定感の高い人間に育ってほしいと願っています。